



# こもれび

Nagasaki Prefecture Shimabara Hospital

2015 夏号



地域に信頼され、親しまれる病院を目指して、みなさまと当院をつなぎ、森に差し込む“こもれび”のような、ひとすじの光をお届けしたいと思います。

## Contents

- ・専門医に聞く  
島原病院外科の現況  
外科 診療部長 蒲原 行雄…………… 2~3
- ・地域包括ケア病棟のご紹介  
看護師長 田中 静子…………… 4
- ・連携医療機関のご紹介  
稲田整形外科医院 / わたなべ内科クリニック…………… 5
- ・部門 Topics  
地域医療支援センター…………… 6  
栄養班 管理栄養士 磯本 朗…………… 7
- ・市民公開講座のご案内…………… 8

## 病院理念

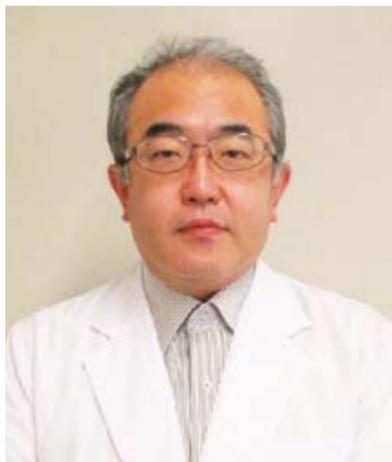
患者さん本人の立場に立った医療

## 病院指針

1. 早期診断、早期治療、早期リハビリテーションを医療の基本指針とします。
2. 診療にあたっては、インフォームド・コンセントを基本にして、患者中心の医療を展開します。
3. 早期退院と医療の継続を目的に病診連携、保健福祉の連携など、地域につながるチーム医療を展開します。
4. 地域医療を支援する施設として、常に医療水準の向上に努めます。
5. 経営基盤の確立に努め、協働、相互扶助、相互啓発を職場の規範として活力ある病院づくりを進めます。



# 島原病院外科の現況



外科 診療部長  
浦原 行雄

資格  
日本外科学会指導医・専門医  
日本消化器外科学会指導医・専門医  
日本肝胆膵外科学会高度技能指導医  
がん治療認定機構認定医

現在、島原病院外科は松尾繁年院長を含む常勤6名、非常勤1名で診療に当たっています。治療範囲は乳腺、甲状腺をはじめとし、食道から肛門までの消化管、肝胆膵領域、およびヘルニア等の一般外科領域までを広範にカバーしており、日本外科学会専門医6名が所属しております(日本外科学会認定施設)。今回は症例の中で大部分を占める消化器外科領域の現状をお示しします。消化器外科領域は消化管と肝胆膵の2領域に大きく分かれます。当科では日本消化器外科学会専門医3名と日本肝胆膵外科学会高度技能指導医1名が所属し、専門的診療とともに指導体制も確立しています(日本消化器外科学会認定施設)。

## ◎消化管外科

消化管外科領域は腹腔鏡手術が積極的に導入されています。従来から言われた創が小さいことに加え、腹腔内での視野が良好なことや、洗浄を必要とする感染性疾患の場合には、大きい開腹を行わなくても可能なことから緊急手術にも応用しています。炎症性疾患では、急性虫垂炎や十二指腸潰瘍穿孔性腹膜炎などは、臍部の創+1cm前後の創数か所でも対応可能でありよい適応です。悪性腫瘍の場合は、癌の進展範囲によって異なりますので、主として早期から中等度までの進行病変に適応しています。直腸癌では骨盤奥深く視野が困難な部位でも、腹腔鏡を使用することで良好な視野でより精密な操作が可能となります。腹腔鏡下消化管手術の欠点は、通常の大きな創の開腹手術より若干時間を要することです。しかし、腹腔内の処置は開腹手術と合わせ、同等にできるため創が小さい分だけ患者さんに与える負担は小さくなり、早期回復が見込めます。現在、消化管手術はクリニカルパス適応で、術後2週程度の入院が標準的となっています。

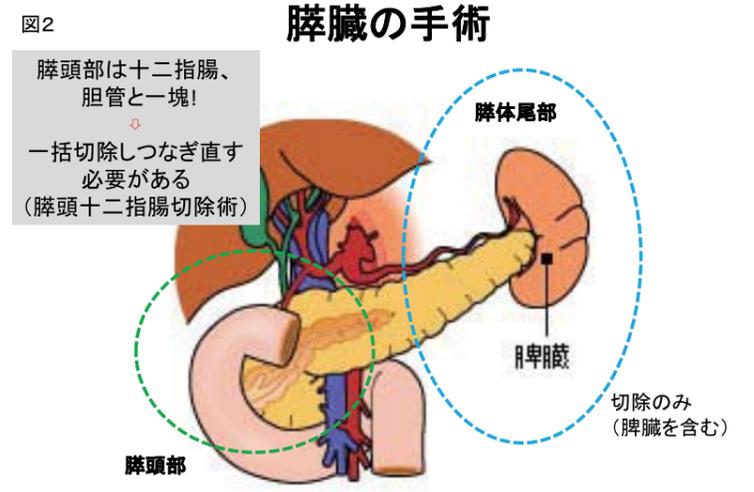
## ◎肝胆膵外科

肝胆膵領域では、複雑に脈管が入りこんでいるため、手術も複雑なものとなることが少なくありません。胆石による胆嚢摘出術はすでに

腹腔鏡手術が確立しており、高度な炎症を生じたもの以外は適用可能です。胆石の手術は非医療者からは誤解されることが多く、結石のみを取り出すとされていることが少なくありません。また、尿管結石と混同され飲水や衝撃波で破砕し尿に出すと誤解される場合もあり、胆嚢ごと結石を除去することに驚かれることもしばしばです。しかし、結石産生の原因が胆嚢そのものにあることに加え、現在でも1%前後の頻度で悪性腫瘍(胆嚢癌)の併存がありますので、胆嚢を摘出し肉眼的に異常所見なくても病理検索が必要です。当院では2014年より常勤で病理専門医(林 徳真吉診療部長)がいらっしゃるため十分な検索も可能です。

一方、悪性腫瘍の場合は、肝切除あるいは膵とそれに連続する十二指腸を切除することが多く、肝切除と膵頭十二指腸切除は、一般に症例経験の乏しい施設では合併症の頻度が高くなるとも言われています。個人経験症例として500例以上の本領域の手術を担当しており、当院での合併症発生率は全国標準より低く、また、高齢者の多い当地域でも80歳代の方でも肉体的にお元気であれば手術が可能です。それは、患者さんの体力の把握とともに術前の十分な評価が行われているからです。これは放射線科を主とする画像検索、心肺機能を評価できる内科医の存在、麻酔専門医師による術中管理と術後の看護、リハビリテーションが当院では完備しているからです。

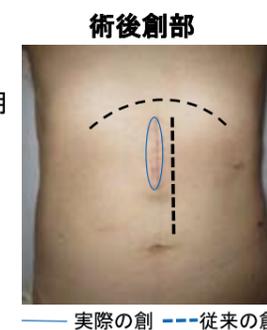
肝切除の特徴は、肝臓の状態に応じた切除範囲を設定すれば切除後残存肝は再生肥大し、後遺症はありません(図1)。また最新の手術機器を用いることで、懸念された出血量も減少し輸血を必要とする症例は全体の5%以下です。膵臓は体の中央に横に長く存在し、左側は脾臓と右側は十二指腸、胆管と一体化しています。左側の膵臓切除は膵臓+脾臓を摘出するものですが、右側は十二指腸も全摘出する必要があります(膵頭十二指腸切除、図2)。この手術では、消化液を産生する膵や胆汁の流れ道である胆管を腸と吻合しなければならず、この吻合がうまくいかないときは重篤な状態に陥ることもあります。当科では吻合法の工夫を行い、縫合不全による合併症はほぼ認めておりません。



## ◎腹腔鏡を併用した膵切除

対象)膵腫瘍(体尾部)で良悪性境界域の腫瘍(5cm以下)

体腔深部では腹腔鏡の視認性を利用  
↓  
小開腹創から膵体尾部・脾を体外へ  
↓  
細かい操作は体外で直視下で安全、  
確実に実施!



肝胆膵領域にも腹腔鏡手術は導入していますが、一部の施設で報じられたような危険性をはらんでいる場合もありますので当科では、疾患の程度、部位によって検討し、腹腔鏡の利点である視認性を取り込みつつ、開腹手技の安全性も組み入れた腹腔鏡併用開腹手術(ハイブリッド手術; 体腔深部は腹腔鏡操作、血管切離などの重要箇所は開腹操作)を主として行い、安全で創の範囲を縮小できるように取り組んでいます(図3)。

終わりに

外科手術はガイドライン化され確立したものとなり一定レベルの治療がどこでも可能です。しかし、悪性腫瘍の場合は、手術のみで終了することはなく、術後の治療や定期的な転移再発の検索が重要です。“がん”は急病ではなく慢性病であることをご理解いただき、生活地域内で治療完遂することが患者さんには重要なことと考えています。

図1 肝臓の再生

正常な肝臓は再生力が旺盛である(最大30%の残存でOK)

残った肝臓は大きくなる

肝硬変のある肝臓=再生力が低下  
切除には限界があり、切除以外の治療法も考慮すべきである。

肝臓の状態によって治療法が制限される  
→手術前評価が重要である

# 地域包括ケア病棟のご紹介

当院では、平成26年10月より5階南病棟(50床)を「地域包括ケア病棟」として新たに開設いたしました。



看護師長 田中 静子

## 1. 地域包括ケア病棟とは

急性期治療を終えて、在宅や施設への復帰に向けた治療・支援を目的とした病棟です。当院の地域包括ケア病棟へ入棟された患者さんの在宅復帰に向けて、主治医をはじめ看護師、専従のリハビリテーションスタッフ、医療ソーシャルワーカー(MSW)等が協力し、相談、準備を行っています。入院期間は患者さんの状態や目標によって調整しますが、最長で60日となります。

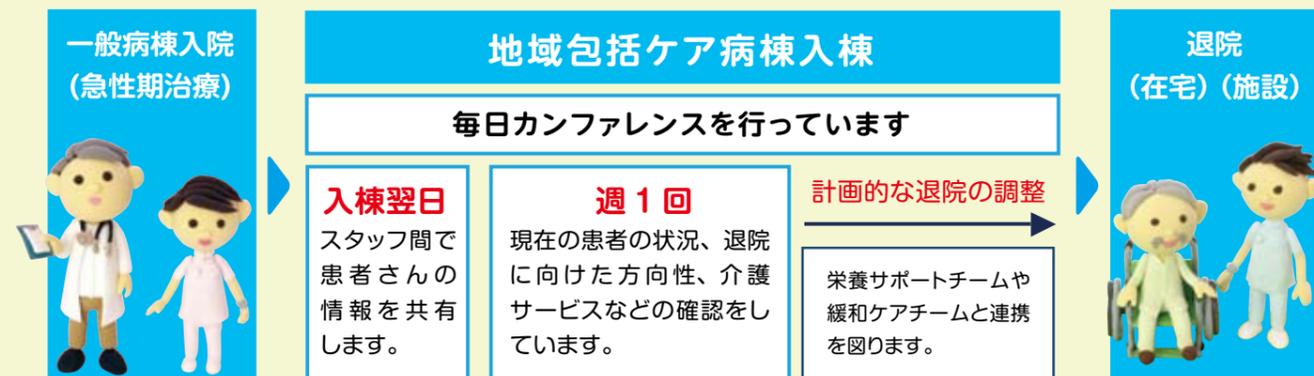


図1 一般病棟から地域包括ケア病棟入棟・退院までの流れ

## 2. スタッフ

医師、看護師、看護補助者、専従リハビリスタッフ、専任MSW、栄養士、薬剤師等、連携を図っています。

## 3. 運営状況について

在宅復帰率は平均90.4%です(平成26年10月から平成27年3月まで)。施設要件は70%以上です。

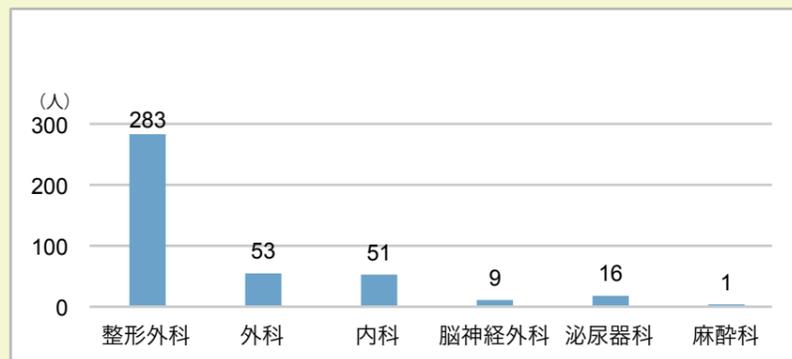


図2 地域包括ケア病棟入棟患者数(H26.10月~H27.3月)



多職種によるカンファレンス

開設して9か月経過しました。医療スタッフは、患者さん一人ひとりの苦痛や不安に耳を傾け、在宅療養に向けて介護支援専門員、関係機関との連携に努めています。当院に設置しています、『ありがとうポスト』の声をご紹介します。

- ◎「長い2か月間色々とお世話になりました。初めて何週間ぶりに車椅子に乗せてもらい、徐々にリハビリの効果があって、回復に向かっていくことを実感できました。退院して一日も早く元の体に戻る様頑張りたいです」(70代の女性)
- ◎「いろいろな人がいてねいにお世話してくれるのでうれしいです。おばあちゃんをどうかよろしく願いします」(9歳女性)

# 連携医療機関のご紹介

これからの医療は役割分担と連携が大切！  
いつも協力いただいている地域の医療機関をご紹介します。

## 稲田整形外科医院

院長 稲田 善久 先生  
島原市片町 655 ☎0957-62-6355

### 「地域医療に貢献」

当院は昭和44年に父が19床の有床診療所整形外科として開業し、平成12年私が院長を引き継ぎました。整形外科一般、打撲、捻挫、骨折、創傷などの外傷および腰痛、膝痛などの変性疾患の方が多く来院されています。外来では幅広い年齢層の方が来院されますが、特に高齢者の方が大半を占めます。最近では90歳以上の高齢者、独居の方の入院が多く、疾患では脊椎圧迫骨折、骨折術後などがほとんどです。



高齢化に伴い骨粗鬆症による病的骨折が著しく増加しています。そのためDXAにて骨密度測定し、治療の効果判定を行います。

島原病院には手術の必要な骨折、人工関節など紹介することが多く、良好な病診連携が構築されています。また通院困難な方の往診も行っています。地域医療に貢献できるよう日々頑張っている次第です。今後ともよろしくお願い致します。

## わたなべ内科クリニック

院長 渡邊 剛士 先生  
島原市巾安徳町丁 4364 ☎0957-62-1515

### 「地域のよろず相談所」

平成23年9月地域の皆さんの健康維持(健康寿命延伸)に多少なりともお手伝いが出来ればと思い、気軽に相談できる「かかりつけ診療所」として島原市巾安中地区に新規開院致しました。私は長崎大学卒業ですが島原半島地域で働いた経験がなく、地域の医療事情も分りませんので、開院への戸惑いはありました。幸い南島原市有家町出身でしたので島原半島の空気(職場環境)にはすぐ慣れました。



普段の診療は間口を広く「よろず相談所クリニック」として地域に受け入れられる内科系診療所を目指しています。一方私個人の力量だけでは患者さんのさまざまな訴えに対処することは出来ません。島原病院さんをはじめ地域医療機関と連携し患者さんにとって良いと考えられる検査、診断、治療法への道筋をつけます。また、各事業所と連携し適切な看護や介護を提案していきます。



日頃から島原病院の先生方、スタッフの皆さんには大変お世話になっております。引き続き病診連携お願い申し上げます。これからも島原半島地域包括ケアシステムの一員として皆さんのお役に立ちたいと思っています。

# 医療相談室のご紹介

地域医療支援センター

## 長崎県島原病院に相談室があることをご存知ですか？

相談室では、治療・療養に関することやこころの悩み、医療費の問題、家族の悩み、セカンドオピニオンの相談など、様々な問題について話を伺い、解決へのお手伝いをさせていただいております。多種多様な問題に対して対応できるように、看護師や医療ソーシャルワーカー、がん相談員、緩和ケア専従看護師など各専門職が揃っておりますので、お気軽にご相談ください。



医療相談室スタッフ

受付時間：平日 9時～17時  
電話：0957-63-1145  
相談費用：無料

\*医療ソーシャルワーカー：社会福祉士の国家資格を有し、社会福祉の立場から、患者さんやその家族の方々の抱える経済的・心理的・社会的問題の解決、調整を援助し、社会復帰の促進を図る業務を行います。

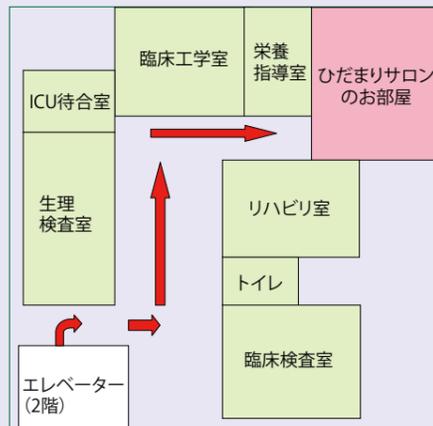
## 「ひだまりサロン」をご存知ですか？

「ひだまりサロン」は、がんの患者さんやご家族が、心の悩み、不安、体験、生活上の工夫など語り合い交流する場です。心配ごとや不安な気持ちを一人で抱え込まず、患者さん同士同じ立場で語り合うことで、気持ちを和らげ、ぬくもりのある心地よい場となるようサポートしています。

参加された患者さんより、「日常生活の様子など聞いて頂き、アドバイスもあり、よかったですと思います。」「一人で過ごしていると、聞いてもらうだけでも安心できるので、こういう場は大事だと思うし、みんなにわかってもらいたい。」「楽しいおしゃべりができました。気分が晴れます。」というお言葉も頂いております。ぜひ、お気軽に参加してください。

日時：毎月第3火曜日 14時～16時  
(参加される時間は自由です)

対象：がん患者さん・ご家族  
(当院に雇っていない患者さん・ご家族の参加も可能)  
サポートスタッフ：看護師、医療ソーシャルワーカー、  
がん相談員、緩和ケア専従看護師



# デザートセレクトを実施しました! 栄養班

## 患者さんにもっと食事を楽しんでいただくために。

入院中の患者さんにとって、食事は楽しみの一つです。その食事の時間をより良いものにしていくため、当院では様々な取り組みを行っています。たとえば、常菜食や成長期食を提供している患者さんに対する週に3回の選択メニュー、季節に合わせた行事食、長崎県ご当地メニューの提供などが挙げられます。これまで選択食を実施できなかった治療食や嚥下食の患者さんへもメニューを選択していただくことができないか検討した結果、「デザートセレクト」を実施することになりました。



管理栄養士 磯本 朗



長崎県ご当地メニュー  
(小浜ちゃんぽん、じゃがちゃん風)

## 「デザートセレクト」について

デザートセレクトは、2種類のデザートの中から食べたいものを患者さんに選んでいただくデザートを選択食です。事前に患者さんへ聞き取り用紙を用いて希望を聞き取り、後日、選んでいただいたデザートを昼食と一緒に提供させていただきました。対象になる患者さんは当院での食事提供がある方全員（流動食以外）で、食種に応じて選択できるメニューが異なります（下記参照）。飲み込みに問題のある方やエネルギー・脂質制限のある方にも楽しんでいただけるよう、様々な種類のデザートを用意しました。



ひとつひとつ心を込めて作りました。

実施後は患者さんから喜びの声を多数いただきましたので、内容を少しずつ変えながら今後も定期的実施していきたいと思っております。

<p>常菜食、全粥菜食等</p> <p>左：チョコケーキ 右：苺ロールケーキ</p>	<p>分粥食、ミキサー食等 (嚥下困難者用)</p> <p>左：いちごミルクプリン 右：抹茶ババロア</p>	<p>糖尿病食、肥満症食等 (エネルギー、脂質制限)</p> <p>左：ミルクゼリー 右：果物盛り合わせ</p>
--	--	--

# 市民公開講座のご案内

テーマ **地域で脳卒中を支えよう**

日時：平成27年9月12日（土）午後1時30分～4時（開場：午後1時）

場所：ハマユリックスホール（雲仙市南串山町） 入場無料

座長：長崎県島原病院 高次脳卒中センター 医師 徳永能治

講演 ●脳卒中患者の救急搬送 ～119通報から病院搬送まで～

小浜消防署 救急救命士 溝口康二・富永誠吾他

●脳卒中の治療と予防 長崎県島原病院 脳神経外科医師 野田 満

●脳卒中のリハビリテーション ～発症から在宅まで～

医療法人社団苑田会 公立新小浜病院 理学療法士 田口耕介

●『自宅で暮らす』を支援する ～私らしく生きる～

ケアプランセンターやまぼうし 主任介護支援専門員 堀部和貴



テーマ **乳がん ～もう一度見なおそう 考えよう～**

日時：平成27年10月24日（土）午後1時30分～4時（開場：午後1時）

場所：グリーンウェーブ（島原市有明総合文化会館）大ホール 入場無料

座長：長崎県島原病院 外科 東 尚

講演 ●乳がんの診断と治療 長崎県島原病院 外科 東 尚

●島原市の乳がん検診の実施状況について 島原市保健センター 荒木久美子

●早期発見って大切です “がんに負けず、あたたかい陽ざしで家族を守りましょう”

BCNJ あけぼの会ながさき支部 田中由喜子

●乳がんの放射線治療 長崎県島原病院 放射線科 小幡 史郎



## 特別講演

『島原病院での乳がん診療をふりかえって』 長崎県島原病院 院長 松尾 繁年



発行／長崎県島原病院

（広報委員会事務局：地域医療支援センター）

〒855-0861 長崎県島原市下川尻町 7895 番地

TEL 0957-63-1145（代表）内線 116 FAX 0957-63-6544

URL <http://www.shimabarabyoin.jp/>

外来受診時間 午前8：45～午前11：00

受付時間外に受診される場合は、救急対応となります。  
平成26年4月7日より小児科再開しております。  
※詳しくはホームページをご覧ください。

休診日 土・日・祝日  
年末年始（12月29～1月3日）